



Avaya Aura[®] の Avaya J129 SIP IP 電話 機のクイックリファレンス

リリース 4.1.9
第 1 版
2025 年 7 月

Notices

© 2026 Avaya LLC. All Rights Reserved.

You may, at your own risk, assemble a MyDocs collection solely for your own internal business purposes, which constitutes a modification to the original published version of the publications. Avaya shall not be responsible for any modifications, additions, or deletions to the original published version of publications. You agree to defend, indemnify and hold harmless Avaya, Avaya's agents, servants and employees against all claims, lawsuits, demands and judgments arising out of, or in connection with, your modifications, additions or deletions to the publications.

A single topic or a collection of topics may come from multiple Avaya publications. All of the content in your collection is subject to the legal notices and disclaimers in the publications from which you assembled the collection. For information on licenses and license types, trademarks, and regulatory statements, see the original publications from which you copied the topics in your collection.

Except where expressly stated by Avaya otherwise, no use should be made of materials provided by Avaya on this site. All content on this site and the publications provided by Avaya including the selection, arrangement and design of the content is owned by Avaya and/or its licensors and is protected by copyright and other intellectual property laws including the sui generis rights relating to the protection of databases. Avaya owns all right, title and interest to any modifications, additions or deletions to the content in the Avaya publications.

第 1 章: メインメニュー

次の表では各 [メインメニュー] オプションについて説明します。

名前	説明
[履歴]	通話履歴を表示します。
[連絡先]	連絡先を追加、編集、または削除します。
[ボイスメール]	ボイスメッセージを確認します。
[機能]	管理者が有効にした機能にアクセスします。
[設定]	電話機設定、オーディオ設定、ディスプレイ設定などを変更します。
[ネットワーク情報]	ネットワーク設定を確認します。
[ロック]	電話機をロックします。
[ログアウト]	電話からのサインオフのほか、自分の設定を保護したり、他のユーザーがログインできるようにしたりします。
[管理]	管理設定にアクセスします。
[IP Deskphone の詳細]	電話機のソフトウェアバージョンとデフォルトのデバイスタイプを表示します。














第 2 章: 電話機のアイコン

次の表に、Avaya J129 IP 電話機で使用するアイコンを示します。

アイコン	説明
	最初のコールアピランスの回線インジケータ
	2 番目のコールアピランスの回線インジケータ
	10 件を超える未応答履歴
	発信履歴
	未応答履歴
	着信履歴
	発信履歴 (MDA)
	不在着信
	確認
	MDA がアクティブ
	新規通話のセットアップ
	ボイスメール
	チェックボックスがオフ
	チェックボックスがオン
	アクティブな会議
	保留中の会議
	コントラスト
	携帯内線

次のページに続く...

電話機のアイコン

アイコン	説明
	フェイルオーバ
	ラジオボタンがオフ
	ラジオボタンがオン
	機能が利用不可
	不在転送
	ハンドセット
	保留
	電話のロック
	着信音オン
	着信音オフ
	スピーカー
	応答不可
	ミュート
	発信者 ID 検証が完了しました。
	発信者 ID 検証失敗

第 3 章: 操作

プロビジョニングサーバーの詳細を入力する

このタスクについて

電話が Device Enrollment Services、DHCP SSON、LLDP からプロビジョニングサーバー URL を取得できない場合、ユーザーはプロビジョニングサーバーの詳細を手動で入力するよう求められます。

前提条件

プロビジョニングサーバーのアドレスがあることを確認します。システム管理者にプロビジョニングサーバーのアドレスについて問い合わせてください。

手順

1. 電話機の初回起動時、[自動プロビジョニング] 画面に「オートプロビジョニングを再度有効にしてよろしいですか？」が表示されたら、次のいずれかを押します。
 - [はい] : Device Enrollment Services サーバーに接続してプロビジョニングサーバーアドレスを取得し、DHCP のプロビジョニングサーバーアドレスを無視します。
 - [いいえ] : DHCP サーバーからプロビジョニングサーバーアドレスを取得します。

タイムアウトの場合に、DHCP からプロビジョニングサーバーアドレスが発行されていない場合は、電話機で [はい] が選択されています。

Device Enrollment Services への接続が成功し、電話機がプロビジョニングサーバーアドレスを受信している場合、電話機は起動を続行し、プロビジョニングサーバーアドレスの入力は要求されません。

Device Enrollment Services への接続が成功し、電話機が Device Enrollment Services からプロビジョニングサーバーアドレスを受信していない場合は、電話で番号登録コードの入力が求められます。番号登録コードについては、管理者に問い合わせてください。有効な番号登録コードを入力すると、電話機は起動を続行し、プロビジョニングサーバーアドレスの入力は求められません。

番号登録コードがない場合は、[キャンセル] を押します。電話機は DHCP を使用して起動を続行します。

電話機に起動中というメッセージが表示されます。Device Enrollment Services または DHCP サーバーからプロビジョニングサーバーアドレスが発行されていない場合は、電話機に [プロビジョニングの詳細を入力] 画面が表示されます。

2. [プロビジョニングの詳細を入力] 画面で、次のいずれかを押します。
 - [設定] : プロビジョニングサーバーアドレスを入力します。
 - [無効にする] : プロビジョニングサーバーアドレスを要求しません。

- [キャンセル] : プロンプトをキャンセルし、[ログイン] 画面を表示します。
3. [設定] を押したら、[アドレス] フィールドにプロビジョニングサーバーのアドレスを入力します。

アドレスは英数字の URL です。例 : `http://myfileservers.com/j100/`。

+ ヒント

ドット記号 (.) を入力するには、英数字ソフトキーを押して ABC モードに切り替えます。

スラッシュ記号 (/) を入力するには、[/] ソフトキーを押します。

4. (オプション) [グループ] 番号を入力します。

システム管理者からグループ番号を取得します。指定できる値範囲は、0 ~ 999 です。値を入力しないと、電話ではデフォルト値の 0 が使用されます。

5. [保存] を押します。

電話が起動プロセスを続行し、プロビジョニングサーバーに接続します。

手動ダイヤルモードを使用して発信する

このタスクについて

手動ダイヤルモードでは、ダイヤルされた入力を編集し、既存のダイヤルされた文字列を使用して通話を発信できます。通話が開始されても、ダイヤルトーンはなく、ダイヤルされた文字列を完了するためのタイムアウトもありません。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - ハンドセットを持ち上げます。
 - [スピーカー] を押します。
2. 番号をダイヤルし、[通話] ソフトキーまたは [OK] ボタンを押します。

システム管理者が番号マッピング機能を有効にしている場合、電話で間違っただイヤルされた番号を自動的に修正したり、特定の番号へのダイヤルを禁止したりできます。

ダイヤルモードを設定する

このタスクについて

この手順を使用して、ダイヤルの発信に使用するダイヤル方法を設定します。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話設定] を押します。
2. [メインメニュー] を押します。
3. [下矢印] キーを使って [ダイヤルモード] 画面に移動します。

4. [切り替え] を押して、次のオプションのいずれかを選択します。

- [手動] : [通話] ソフトキーを押して通話を開始します。

*** 注**

IP Office 環境では [手動] モードを使用します。

- [自動] : 通話を開始するには、ダイヤルした番号がダイヤル計画と一致している必要があります。
- [デフォルト] : [通話] ソフトキーを押して通話を開始します。

5. [保存] を押します。

オートダイヤルモードを使用して発信する

このタスクについて

オートダイヤルモードでは、オフフックで発信すると、ダイヤルパッドの数字を押すまでダイヤルトーンが鳴ります。発信した後、入力されたダイヤル入力を部分的に編集できます。ダイヤルパッドで押された数字の DTMF フィードバックトーンが聞こえます。電話でダイヤル文字列が完了したことが検出された場合、またはタイムアウトになった場合に自動的に発信されます。

すぐに発信するには、ダイヤルの終了を示す # キーを押すと、電話で通話を開始できます。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - ハンドセットを持ち上げます。
 - [スピーカー] を押します。
2. 番号をダイヤルします。

ローカルの連絡先リストから発信する

手順

1. [メインメニュー] > [連絡先] を押します。

電話に Use dial pad to search (ダイヤルパッドで名前を検索) というメッセージが表示されます。

2. スクロールして、電話をかける連絡先を選択します。
3. (オプション) ダイヤルパッドで、発信先の名前の文字に対応する番号を押します。
たとえば、Smith という名前を検索する場合、76484 を押します。
4. [通話] を押します。

企業データベースの連絡先リストから電話をかける

このタスクについて

管理者の設定によっては、他のリモート連絡先リストまたはディレクトリから連絡先を検索して呼び出すことができます。

手順

1. [電話] 画面で、次のいずれかを押します。
 - [メインメニュー] > [連絡先] > [検索] .
 - [連絡先] > [検索] .
2. [検索] を押します。
3. デイヤルパッドで、発信する相手の名前の番号を入力します。
たとえば、Smith という名前を検索する場合、76484 を押します。
4. もう一度 [検索] を押します。
企業データベースに保存されている連絡先が表示されます。
5. [発信] を押します。

履歴から通話を開始する

このタスクについて

この手順を使用して、通話履歴から通話を開始します。システム管理者が電話機に緊急通話を設定している場合は、[緊急] ソフトキーが [履歴] ソフトキーに置き換わります。

手順

1. [電話] 画面で、次のいずれかを押します。
 - [メインメニュー] > [履歴]
2. [上] および [下矢印] キーを使用して、呼び出す連絡先を選択します。
3. (オプション) [詳細] を押します。
4. [発信] を押します。

緊急通話を発信する

前提条件

[緊急] ソフトキーが管理者によって割り当てられていることを確認します。

手順

以下のいずれかを行います。

- [電話] 画面で、[緊急] ソフトキーを押して、電話に確認メッセージが表示されたら、[緊急] をもう一度押します。
- ダイアルパッドを使用して緊急電話番号をダイヤルします。

仲介転送の実行

このタスクについて

仲介転送とは、通話を転送する前にアクティブな通話を保留し、通話転送の着信者と 2 番目の通話を確立することを指します。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - キーパッドを使用して、通話の転送先の番号をダイヤルします。
 - [連絡先] リストまたは [履歴] リストから相手に電話をかけます。最初の通話が保留され、参加者の電話機の着信音が鳴り始めます。
2. 受信者が通話に応答したら [完了] ソフトキーを押します。
選択された番号に通話が転送されます。

ブラインド転送の実行

このタスクについて

ブラインド転送とは、通話転送の着信者との通話を確立せずにアクティブな通話を転送することを指します。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - キーパッドを使用して、通話の転送先の番号をダイヤルします。
 - [連絡先] リストまたは [履歴] リストから相手に電話をかけます。最初の通話が保留され、参加者の電話機の着信音が鳴り始めます。
2. 転送を完了するには、[完了] ソフトキーを押します。
選択された番号に通話が転送されます。

転送先が通話に応答しないと、未応答の通話は、リコール転送通話として転送元の電話機に戻されます。

国際通話を行う

手順

1. [0] キーを長押しして、プラス記号 (+) を入力します。
2. 電話をかけたい番号をダイヤルします。

通話を別の内線番号に転送する

このタスクについて

この手順を使用して、着信通話を該当する内線番号に転送します。

IP Office 環境では、不在転送機能の短縮コードダイヤルを使用します。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

前提条件

管理者がこの機能と使用する不在転送オプションを有効にしていることを確認します。機能ターゲットの選択も有効になっていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [機能] までスクロールして [選択] を押します。
3. [不在転送] 機能を有効にするには、次のオプションのいずれかまでスクロールします。
 - [不在転送] : すべての着信通話を別の番号に転送します。
 - [話中転送] : 通話中の場合、着信を別の番号に転送します
 - [不応答転送] : 指定された時間間隔内に電話に応答しない場合、着信を別の番号に転送します。

話中転送と不応答転送オプションは、管理者が設定した場合に使用できます。

4. [選択] を押します。

[転送先を選択] ダイアログボックスが表示されます。
5. 次のいずれかを実行して、着信通話を転送する番号を入力します。
 - [ダイヤル] ソフトキーを押してダイヤルパッドを使用し、番号を手動で入力します。
 - [連絡先]、[履歴]、[電話] ボタンを押して、リストから番号を選択します。
 - [ブラウザ] ソフトキーを押して、ブラウザアプリケーションから転送先番号を選択します。
 - [自動ダイヤル]、[話中表示]、[チーム] ラインキーを押して、転送先の番号を選択します。

[不在転送] 機能が有効になります。

6. 手動で内線番号をダイヤルする場合は、[Enter] を押して不在転送機能を有効にします。

電話で確認音が鳴り、[機能] 画面に戻ります。

7. (オプション) 機能をキャンセルするには、[キャンセル] ソフトキーを押します。
8. 不在転送オプションを無効にするには、アクティブな [不在転送] オプションに進み、[選択] を押します。

会議通話を管理する

アクティブな通話に相手を追加する

このタスクについて

参加者をアクティブな通話に追加して、会議通話を設定できます。

前提条件

通話を開始します。

手順

1. 通話中に、[電話] 画面で [次へ] > [会議] を押します。
対応中の通話が保留されます。
2. 参加者に発信するには、次のいずれかの操作を行います。
 - ダイヤルパッドを使用して内線番号をダイヤルします。
 - [連絡先] リストまたは [履歴] リストから相手に電話をかけます。
3. 3番目の参加者が通話に応答したら、[参加] ソフトキーを押します。
4. 他の参加者を追加する場合は、[追加] を押して、手順 2 と 3 を繰り返します。

連絡先の管理

新しい連絡先を追加する

このタスクについて

この手順を使用して、電話機に連絡先を追加します。最大 250 件の連絡先を保存できます。

手順

1. [連絡先] リストを開くには、次のいずれかの操作を行います。
 - [連絡先] を押します。
 - [メインメニュー] を押して、[連絡先] を選択します。
2. 以下のいずれかを行います。
 - [連絡先] リストが空の場合は、[新規] を押します。
 - [連絡先] リストが空でない場合は、[次へ] > [連絡先] を押します。

3. ダイヤルパッドを使用して、連絡先の氏名を対応するフィールドに入力します。
 - 入力する文字または数字に該当するテンキーを押します。
 - 文字が同じキーにある場合、次の文字を入力する前に一時停止してください。
 - スペースを入力するには、[0] を押します。
 - 残りの文字または数字を入力します。
 - 記号を入力するには、[次へ] > [記号] を押します。ナビゲーション矢印を使って入力する記号を強調表示し、[挿入] を押します。
 - 最後の文字を削除するには、[バックスペース] ソフトキーを押します。
4. 内線番号を入力します。

連絡先の内線番号には、大文字小文字、0～9の数字、コンマ (,)、プラス (+)、ドット (.) などの特殊記号を使用できます。
5. [保存] を押します。

連絡先を検索する

このタスクについて

この手順を使用して、ローカルの連絡先リストや企業ディレクトリから連絡先を検索します。ただし、IP Office 環境では、ローカルの連絡先リストからのみ連絡先を検索できます。

IP Office の詳細については、<https://support.avaya.com/> の IP Office ドキュメントを参照してください。

手順

1. ローカルの連絡先から連絡先を検索するには、次を行います。
 - a. [メインメニュー] > [連絡先] を押します。

電話機に「ダイヤルパッドを使用して検索」というメッセージが表示されます。
 - b. ダイヤルパッドで、発信先の名前の文字に対応する番号を押します。たとえば、Smith という名前を検索する場合、764 を押します。
2. 企業ディレクトリから連絡先を検索するには、次を行います。
 - a. [電話] 画面で [連絡先] > [検索] を押すか、[メインメニュー] > [連絡先] > [検索] を押します。
 - b. ダイヤルパッドを使用して、名前を入力します。
 - c. [検索] を押します。

ローカルの連絡先に連絡先を追加するには、[+連絡先] を押します。

通話履歴を管理する

履歴リストのコールレコードを管理する

手順

1. [電話] 画面で、次のいずれかを押します。
 - [メインメニュー] > [履歴]
2. 追加または削除する番号を選択します。
3. [詳細] を選択します。
4. 次のいずれかを選択します。
 - [+連絡先] : 通話履歴メニューからコールレコードを連絡先リストに追加します。
 - [削除] : 通話履歴からコールレコードを削除します。

通話関連機能を使用する

コールパーク/コールパーク解除

このタスクについて

この手順を使用してアクティブな通話を一時保留し、別の内線番号からの通話に応答します。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

IP Office 環境では、この機能は短縮コードダイヤルを使用してサポートされます。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

手順

1. 通話中に、[メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [コールパーク] 画面に移動します。
3. [選択] または [OK] を押します。

電話機は通話を一時保留します。
4. 一時保留中の通話に応答するには、[メインメニュー] > [機能] を押します。
5. [下矢印] キーを使って [通話のパーク解除] 画面に移動します。
6. [選択] または [OK] を押します。
7. コールがパークされたときの内線番号を入力します。
8. [OK] を押します。

電話機は通話の一時保留を解除します。

通話間を切り替える

このタスクについて

この手順を使用して、アクティブな内線間で切り替えができます。

前提条件

複数のアクティブな内線があることを確認します。

手順

1. [切替] を押します。
現在の通話が保留になり、もう一方の通話が再開されます。
2. [切替] をもう一度押すと、最初の通話に戻ります。

自動コールバックを設定する

このタスクについて

内線番号が話中の場合は、この手順を使用して、内線番号の通話が終了したときに自動的にコールバックを受信できるようにします。

IP Office 環境では、この機能は短縮コードダイヤルを使用してサポートされます。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

前提条件

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

手順

1. 相手への発信中にその回線が通話中の場合は、[メインメニュー] > [機能] を押し
ます。
2. [下矢印] キーを使って [自動コールバック] 画面に移動します。
3. [選択] または [OK] を押して [自動コールバック] を有効にします。
コールバック通話を終了すると機能は自動的に解除されます。

携帯内線をアクティブにする

このタスクについて

この手順を使用して、携帯電話で通話に応答します。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

前提条件

システム管理者は、携帯電話で着信を受信できるように電話機をプログラミングする必要があります。

手順

1. [メインメニュー] > [機能] を押し
ます。
2. [下矢印] キーを使って [携帯内線] 画面に移動
します。
3. [OK] を押し
ます。

スピードダイヤルエントリを割り当てる

このタスクについて

この手順を使用して、スピードダイヤル番号を連絡先に割り当てます。スピードダイヤルは9件まで割り当てることができます。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話設定] までスクロールし、[選択] を押します。
4. [スピードダイヤル] までスクロールします。
5. [上] および [下矢印] キーで、スピードダイヤル番号を選択します。
6. [連絡先] を押して、連絡先を選択します。
7. [選択] を押して、選択したスピードダイヤル番号に連絡先を割り当てます。

割り当て可能な連絡先は1つのみです。

表示言語を設定する

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [表示設定] を押します。
2. [言語] を選択します。
3. 言語までスクロールして、次のいずれかを押します。

- [選択]
- [OK]

電話機に確認メッセージが表示されます。

4. 以下のいずれかを押します。

- [はい]
- [OK]

電話機の画面が [表示設定] に戻り、選択した言語に変更されます。

電話機の起動中にデバイスタイプを識別する

このタスクについて

Avaya J100 シリーズ IP 電話機 画面には、電話機の起動中にデバイスタイプが表示されます。この機能は、電話のソフトウェアバージョン 4.0.3 以降でのみサポートされます。

手順

1. 電話機のハードウェアを設定します。
2. イーサネットケーブルを電話機に差し込みます。
電話機の電源がオンになり、起動が始まります。

マルチキャストページを送信する

このタスクについて

[電話] 画面でマルチキャストページグループをアクティブにすると、ユーザーのグループにマルチキャストページを送信できます。必要なグループがこの画面に追加されていない場合は、[機能]メニューで電話機に設定されているすべてのマルチキャストページグループにアクセスできます。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - ハンドセットを持ち上げます。
 - [スピーカー] を押します。
2. [電話] 画面で、必要なマルチキャストページグループまでスクロールして、[選択] を押します。
電話機にページング <グループ名>ボックスが表示されます。
3. マルチキャストページを終了するには、次のいずれかを行います。
 - [通話の終了] を押します。
 - ハンドセットをオーディオデバイスとして使用するには、電話を切ります。

第 4 章: メンテナンス

デバイスタイプを表示する

このタスクについて

システム管理者からデバイスタイプ情報の提供を求められたら、デバイスタイプを表示します。デバイスタイプは Avaya SIP または Open SIP にできます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [システム] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [デバイスタイプ] までスクロールします。

サーバータイプを表示する

このタスクについて

システム管理者からサーバータイプ情報の提供を求められたら、サーバータイプを表示します。サーバータイプは Avaya Aura[®] または Open SIP のいずれかにできます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [システム] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [サーバータイプ] までスクロールします。

製品 ID を表示する

このタスクについて

製品 ID 情報は、電話機の背面パネルのラベルに記載されています。また、電話画面で製品 ID を表示して確認することもできます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [システム] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [製品 ID] までスクロールします。

第 5 章: サポート

ユーザーガイド、管理者用ガイド、インストールとメンテナンスガイド、インタラクティブ ドキュメントおよびソフトウェアのダウンロードを含む最新のサポート情報は、www.avaya.com/support にあります。